

地域医療構想調整会議の議事概要

(呉) 地域保健対策協議会

会議の実施日時	平成 31 年 2 月 20 日 14 : 00~15 : 20 平成 30 年度 第 2 回
地域医療構想アドバイザー	
委員長から、広島県地域医療構想アドバイザーに協議に入っていただく旨を説明	
資料説明	
事務局から以下について説明	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回調整会議の議事概要 (平成30年 9 月 26 日開催) ・ 県単位の地域医療構想調整会議資料 (平成30年11月15日開催) ・ 病床部会の議事概要 (平成 31 年 1 月 24 日開催) 	
定量的な基準の導入等に係る協議	
<p>(1) 準急性期の考え方に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 急性期と回復期とのギャップが大きいこと、回復期とした病棟の中には急性期の患者もいるということで、県では「準急性期」という括りを考えている。その場合どのような基準にすればいいかを圏域で議論いただきたい。(アドバイザー) ○ 病棟単位で一番多い機能を報告すると、回復期病床が足りないということも起こってくる。それなのに急性期ではなく回復期で報告しなさいというのは矛盾しているのではないか。(委員) <p>【回答】病床部会でもこの点については問題点があるとお伺いしているので、本日のご意見も踏まえて、県の調整会議あるいは本庁へ上げていきたい。(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 急性期が余って回復期が少ないと言われて、急性期の病床に回復期の患者が多いではないかとなった時のことを考えると、「準急性期」という考え方を残しておきたいという思いがある。(アドバイザー) <p>(2) 病床機能の明確化、県としての方向性を求めるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大阪府のポストアキュートという考え方があるが、そんなことをする必要があるのか。自然に移っていけばいいことであり、数を無理やり合わせる必要はない。(委員) ○ 定量的な基準を出された目的は何か。何をどうしようとされているのか。(委員) <p>【回答】地域医療構想では、病床機能報告を毎年見ながら必要病床数に収れんしていくこととしているが、その報告数字が実態と合っていないのではないかとということ。いかに実態を見ながら地域の中で検討をしていくかということの中で、定量的な基準の導入ということが国から出され、それについて県で検討しているということである。(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの機能に分類することに何の意味があるのか。何のためにやるのかということろを摺り合わせる必要がある。一生懸命分類したけれど回復期はこれだけしかありませんでしたと出すべきであり、合わす必要はないと思っている。(委員) 	

(3) 広域化、広域的な検討の視点に関するもの

- 将来的に高度急性期はダウンサイジングとなった場合、疾患の複雑性をカバーする方法は広域化しかない。広島県に7つの医療圏が必要なのか。県は広域化についてどのように考えているのか。(委員)

【回答】高度急性期に関しては全県でという考えである。(アドバイザー)

- 高度急性期か急性期かを分けることはできない。そうすると救急患者をどう判断してどこに搬送するのかわからなくなってくる。急性期は高度急性期も含めて考える必要があり、圏域だけではなくて広域に考える必要がある。(委員)

【回答】今は高度急性期と急性期を分けようという考えはない。(アドバイザー)

- 呉市は高度急性期の集約地域で患者も広域から来ている。回復期に移行した患者は地域に帰っていくので、回復期も広域で考えないと辻褄が合わなくなってくる。呉市だけで回復期を増やすという話はおかしいのではないかと。(委員)
- 広域化とダウンサイジングでものを考えるしかない。しかしダウンサイジングは医療の質を落とすことになるから、できるだけ広域化という方向で、皆でうまくカバーしていくことを考えていかないといけない。(委員)
- 呉圏域だけではない流れというのはたくさんあるのに、病床区分を圏域の中だけで考えるのが妥当かどうか。県単位の調整会議の中で考えを伺っていきたい。(委員長)

(4) その他

- 呉では回復期、慢性期が足りてなくて、かつ近隣型病院が十分でないというところに大きな問題があると思う。県内のそれぞれの地域で違いがあり、安易にあそこを潰せとか、あそこを減らせということで問題が解決できるのかと思う。(委員)
- 呉圏域は医療資源が多いから、どこか病床を減らせと言われるのではないかとこのことがずっと付きまとっているのではないかと思うが、せつかくある医療資源を無理やり減らすことはない。(アドバイザー)

(5) まとめ

- 今日の意見をとりまとめて、呉地域の調整会議でこういう意見が出ているということ県単位の調整会議に上げていき、県単位の調整会議でどのように考えているのかを出してもらいたいと思う。(委員長)